

1弁式電子制御スロットル(E T C S - i)採用車(除く G Z G 5 0 および' 9 7 年 1 1 月以前の ST210) 全 店

標 題 スロットルボデー A S S Y 機能点検要領訂正のお知らせ

下記修理書および修理書/追補版において、スロットルボデー A S S Y 機能点検の要領に誤りがありましたので、訂正致します。

車 種	品 番	発 行 年 月	ペ ー ジ
アリスト修理書	6 2 1 8 1	1 9 9 7 年 8 月	1-5 6
クラウンマジェスタ修理書/追補版	6 2 1 8 2	1 9 9 7 年 7 月	1-33(2JZ-GE), 2-35(1UZ-FE)
クラウン・セダン・ハードトップ <sup>o</sup> 修理書/追補版	6 2 1 8 3	1 9 9 7 年 7 月	2-3 3
セルシオ修理書/追補版	6 2 1 8 4	1 9 9 7 年 7 月	1-3 6
スープラ修理書/追補版	6 2 1 8 5	1 9 9 7 年 8 月	1-2 4
ソアラ修理書/追補版	6 2 1 8 6	1 9 9 7 年 8 月	1-2 6
プロブレ修理書	6 2 1 8 9	1 9 9 8 年 5 月	EN-4 6
マークII・チェイサー・クリスタ 修理書/追補版	6 2 1 9 0	1 9 9 8 年 8 月	EN-4 2
アルテッツァ修理書	6 2 1 9 1	1 9 9 8 年 1 0 月	EN-37(3S-GE), EN-40(1G-FE)
クラウン・クラウンマジェスタ修理書 A 巻	6 2 1 9 2 A	1 9 9 9 年 9 月	EN-9 4, EN-1 4 4
コロナ プレミオ修理書/追補版	6 2 8 7 1	1 9 9 7 年 1 2 月	3-2 7
ビスタ修理書 上巻	6 2 8 7 7	1 9 9 8 年 7 月	EN-4 9
ナディア修理書	6 2 8 6 5	1 9 9 8 年 8 月	EN-4 6
ランドクルーザー 1 0 0 修理書	6 2 9 5 0	1 9 9 8 年 1 月	2-3 4

E T C S - i 採用車はスロットルポジションセンサー・アクセルポジションセンサー調整時にもオープナー開度における初期値を学習している為、基準値から外れる値を学習してしまった場合、調整後アイドル回転数が高くなる恐れがあります。

このためスロットルボデー分解、組み付けまたは構成部品脱着後には学習値をキャンセルするため E F I ヒューズおよび E T C S (スロットル) ヒューズを同時に取りはずす必要があります。

また D-4 エンジン車は一部制御の内容が異なる為、点検手順を一部変更しました。

## 訂正後)

### 対象車種

コロナプレミオ ('99年3月/中以降生産車)
ビスタ ('99年3月/中以降生産車)
ナディア ('99年3月/中以降生産車)
クラウン 2JZ-FSEエンジン搭載車 (JZS177, 175)

1. スロットルボデー機能点検  
    <注意>  
    スロットルボデー分解、組み付けまたは構成部品脱着後に必ず機能点検を行う。
  - (a) EFIヒューズとETCS (スロットル) ヒューズを同時に取りはずし、15秒以上経過後ヒューズを接続する。
  - (b) スロットルボデーを車両に取り付け後、アクセルペダルを操作せずにIGスイッチをONにする。  
    <注意>  
    アクセルペダルを操作していた場合は(a)から再度やり直す。
  - (c) DLC3にSST (S2000) を接続し、ダイアグノーシスコードを消去する。  
    SST 09991-60100, (09991-60300)
  - (d) エンジンを始動しチェックエンジンウォーニングランプが点灯していないこと、および暖機後A/C ON⇔OFFにしてアイドル回転数が基準値内にあることを確認する。  
    基準値  
    各車種の修理書又は各車両のエンジンインフォメーションラベル参照  
    <注意>  
    電気負荷のない状態で行う。
  - (e) アクセルペダルをすばやく全開付近まで踏み込んだ時スロットル (No.1) センサー開度 (THPS) の値が60%以上あることを確認する。
  - (f) 走行テストを行い異和感のないことを確認する。

## 対象車種

コロナプレミオ（'99年3月/中以降生産車） ビスタ（'99年3月/中以降生産車） ナディア（'99年3月/中以降生産車） クラウン 2JZ-FSEエンジン搭載車（JZS177, 175）	}	を除く全車
---	---	-------

### 1. スロットルボデー機能点検

<注意>

スロットルボデー分解、組み付けまたは構成部品脱着後に必ず機能点検を行う。

- (a) EFIヒューズとETCS（スロットル）ヒューズを同時に取りはずし、15秒以上経過後ヒューズを接続する。
- (b) スロットルボデーを車両に取り付け後、アクセルペダルを操作せずにIGスイッチをONにする。

<注意>

アクセルペダルを操作していた場合は（a）から再度やり直す。

- (c) スロットルレバーをまわしたときモーターより作動音がすることを確認する。また干渉音がしないことを確認する。
- (d) DLC3にSST（S2000）を接続し、ダイアグノーシスコードを消去する。

SST 09991-60100, (09991-60300)

- (e) スロットルレバーを全開位置まで回したとき、データモニターのスロットル（No.1）センサー開度（THPS）の値が60%以上あることを確認する。
- (f) エンジンを始動しチェックエンジンウォーニングランプが点灯していないこと、および暖機後A/C ON⇔OFFにしてアイドル回転数が基準値内にあることを確認する。

基準値

各車種の修理書又は各車両のエンジンインフォメーションラベル参照

<注意>

電気負荷のない状態で行う。

- (g) 走行テストを行い異和感のないことを確認する。

担当：サービス部第1技術室  
五味 (05617-4-4622)